

# 『本願寺 沖繩別院 (浦添本願寺)』

全国の別院シリーズ その38

## 沖繩別院の歴史 ①

昭和36年2月 沖繩開教地指定条例により、沖繩開教地に指定。  
 昭和36年3月 藤井深忍大典寺住職、沖繩開教地駐在開教使に命ぜられる。  
 昭和36年4月 藤井深忍大典寺住職、沖繩開教事務所長を命ぜられる。  
 昭和40年10月 与世盛智郎開教使、沖繩駐在として着任。  
 昭和42年4月 小玉大誠来沖浦添市仲間にて借家住まいをしながら興南高校の教員を勤め、仲間地区付近の開教を始める。本願寺浦添布教所(前・開教事務所)の基礎となる。  
 昭和47年5月 本土復帰に伴い、沖繩開教地規程施行。藤井大悟開教使、久米島布教所駐在発令。  
 昭和47年6月 中野哲浄師、沖繩開教事務所賛事長として着任し、浦添市仲間にて借家を求めて開教事務所を開設。  
 昭和48年12月 浦添市伊祖640番地に外人住宅(建坪30坪)と敷地(約260坪)を購入し、開教事務所を移転する。  
 昭和49年4月 与世盛智郎開教使及び理事有志が、久米島布教所土地建物を宗派へ無償譲渡寄付。  
 昭和49年5月 大谷光真新門(当時)をお迎えして、開教事務所(伊祖)の開所式を行う。  
 昭和50年3月 仏教青年連盟第1回洋上大会沖繩へ寄港、勝連村農民センターにて交歓会を行う。大谷光照ご門主(当時)、嬉子お裏方(当時)、光真新門(当時：仏青連盟総裁)ご来沖。大谷光照ご門主、嬉子お裏方(当時)、開教地ご巡回される。ご巡回記念に、開教事務所へ梵鐘を、各寺院には行事鐘を下付された。  
 昭和50年5月 鐘楼堂階段下を納骨堂に改修、納骨壇をつくる。  
 昭和52年9月 隣接地(浦添市伊祖真久原643-2)の外人住宅及び敷地(約300坪)を購入、境内地を拡張する。  
 昭和54年6月 開教事務所本堂を増築。



浦添本願寺 本堂

今後の法要スケジュール

「初参式」(善教寺本堂)

五月二十六日(日) 午前九時半

\* 善教寺仏教婦人会主催

\* 記念品を贈呈しますので事前に申し込みください。

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

六月 十六日(日) 午後一時半

\* 毎月十六日に本堂において勤めております。

「安居会(夏の法要)」(善教寺本堂)

六月二十二日(土) 朝席：午前十時

昼席：午後一時半

講師 松枝崇師(東広島市河内町入野長照寺)

\* 送迎マイクロバスを運行します。

「東広島組追悼法要」(善教寺本堂)

七月 十二日(金) 午後一時半

講師 金龍静師

\* 東広島組主催

「夏の子ども会」(善教寺本堂)

七月二十六日(金) 午前十時半～午後三時

\* 善教寺仏教婦人会主催



ご縁に感謝  
 善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/> メール [zenkyo@otera.or.jp](mailto:zenkyo@otera.or.jp)